

第4講座「北海道立総合研究機構（道総研）の技術情報提供活動のご紹介」

講師：北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 主幹 小澤 聡 氏

第4講座では、北海道の図書館職員や利用者（相談者）が「情報源」の一つとして活用できる、北海道立総合研究機構（以下「道総研」という。）の具体的な利用方法を紹介しました。

1 道総研について

道総研は、研究員約730名を有し、地方公設試験研究機関としては国内最大級の研究機関です。基本的な研究開発分野は、農業、水産、森林、産業技術、エネルギー・環境・地質、建築・まちづくりなどです。また、重点的な研究開発のテーマとして「食」、「エネルギー」、「地域」の3つを掲げ、総合的な取り組みを進めています。



道総研では、年間約700件の研究課題に取り組んでおり、日々新たな情報が生まれ、蓄積されています。道総研が有する情報を、皆様にもっとご活用いただけると幸いです。

2 技術情報の提供活動

道総研では、研究開発活動を通じて得られた成果や専門文献などの技術情報を皆様に広くご利用いただくため、様々な形で情報提供活動を行っています。ここでは、代表的なものとして「技術相談」、「刊行物」、「図書室」、「GIS」の4つの情報提供活動についてご紹介します。

2-1 技術相談

技術相談は、相談内容に最も相応しい専門分野の研究員が、直接、相談者の疑問・質問にお答えするサービスです。概ね図書館のレファレンス・サービスに相当するものをご理解ください。ご相談は無料で、事前の受付手続き等は特にありません。

道総研には年間約9,000件を超える技術相談が寄せられています。ぜひ、お気軽にご相談いただければと思います。

技術相談を利用するには、道総研のホームページ（<https://www.hro.or.jp/>）画面右上にある「総合相談窓口」という黄色いボタンをクリックして「総合相談窓口」のページを開いてください。詳しい説明が記載されています。ウェブページの「お問い合わせフォーム」、Eメール、電話、FAXで、随時、受け付けています。



道総研のホームページ

2-2 刊行物

道総研では、各研究本部や各試験場から、それぞれに年次報告書、研究報告書、技術資料などを刊行しています。刊行物の多くはPDFファイルなどに電子化しており、各試験場等のウェブページで公開しています。また、機関リポジトリにも、随時、収録を進めています。

ウェブページで公開している刊行物の電子ファイルを利用するには、まず、道総研ホームページから、「研究について」→「刊行物」とメニュー項目をたどって、「刊行物」のページを開いてください。各試験場等の刊行物ページへのリンクが表示されます。

各試験場等の刊行物ページでは、試験場等によりウェブページの構成が多少異なりますが、おおよそ誌名、巻・号等の順で整理した一覧表となっており、電子ファイルへのリンクがあるものについては、ダウンロードして閲覧することができます。リンクがない刊行物をご利用したい場合は、お手数ですが、当該刊行物を発行した試験場等へ、直接、お問い合わせください。

機関リポジトリを利用するには、道総研ホームページの画面右下にある「図書館OPAC/機関リポジトリ」というボタンをクリックして「北海道立総合研究機構OPAC」のウェブサイトを開いてください。蔵書検索と機関リポジトリ検索とは、タブで切り替えて使用します。

キーワード等で検索して表示された、検索結果の一覧表のリンクから本文ファイルを閲覧することができます。



道総研OPAC/機関リポジトリ

2-3 図書室の利用

道総研では、中央水産試験場、林産試験場、食品加工研究センター、エネルギー・環境・地質研究所（以下「エネ環地研」という。）の4つ試験場で図書室を公開しています。エネ環地研を除く3試験場の図書室は、閲覧のみ対応しています。エネ環地研の図書室では、閲覧のほか、資料の貸出しやILLも行っており、遠隔地にお住まいの方には、地元の公共図書館等を通じて郵送での貸し出しにも対応しています。

各図書室では、当該機関の刊行物のほか、研究開発活動用に収集した多くの専門文献資料を所蔵しています。前述の「図書館OPAC/機関リポジトリ」から蔵書を検索できるので、ご利用ください。また、「図書館OPAC/機関リポジトリ」には、各機関のご利用案内ページへリンクもありますので、ご利用になる場合は、事前にご確認ください。



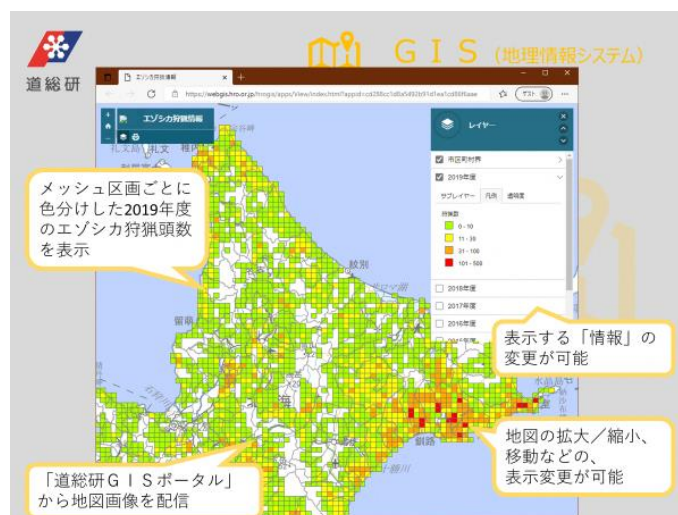
図書室を公開している試験場等

2-4 GISの利用

GIS (Geographic Information System の略称；地理情報システム) とは、位置の情報と紐づいた各種情報をコンピュータ上の地図 (データマップ) に可視化し、解析するシステムです。道総研では、様々な分野の技術情報をデータマップとして公開しています。海水温データマップについては中央水産試験場のページから、エネルギー、防災、地質、環境、生態系等のデータマップについては、エネ環地研のページからリンクしています。

一例として「エゾシカ狩猟情報マップ」についてご紹介します。このデータマップは、エゾシカの個体数管理のため、出猟場所やワナ設置場所を検討する際の資料として活用することを主な目的として「これまで、どこで、どのくらいのエゾシカが狩猟されたか」というデータを取りまとめたものです。

データマップを開くと、メッシュごとに色分けした各年度のエゾシカ狩猟頭数を見ることができます。さらに表示する情報を変更したり、マップの拡大/縮小、移動など表示変更したりすることができます。



データマップの例 (エゾシカ狩猟マップ)

3 まとめ

道総研は、地方公設試験研究機関としては、国内最大規模の研究機関で、多彩な分野の研究開発に取り組んでおり、日々新しい情報が生まれています。

技術相談をご利用になる場合は、まず、総合相談窓口にお問い合わせください。刊行物をご利用になる場合は、ウェブページや機関リポジトリをご利用ください。図書室では、刊行物の他、多くの専門資料を所蔵しています。OPACで検索してみてください。GISを活用したデータマップをご利用になる場合は、試験場等のページからリンクしていますので、ご利用ください。

なお、本年7月、道総研は、北海道教育委員会との包括連携協定を締結しました。これを機に今後、図書館関係の皆様とも、より一層の協力・連携関係を深めていきたいと考えております。

さらに、道総研では広報活動として、Facebook、YouTube、メールマガジン、ブログ、広報誌など様々なメディアを通じて、道総研の今を伝える最新情報を発信しています。いずれもホームページからリンクしていますので、ぜひお気軽に、ご登録・ご利用をお願いします。

道総研の主な技術情報提供活動